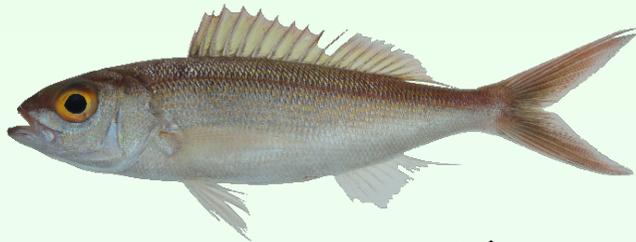




アオダイ



ハマダイ



ヒメダイ

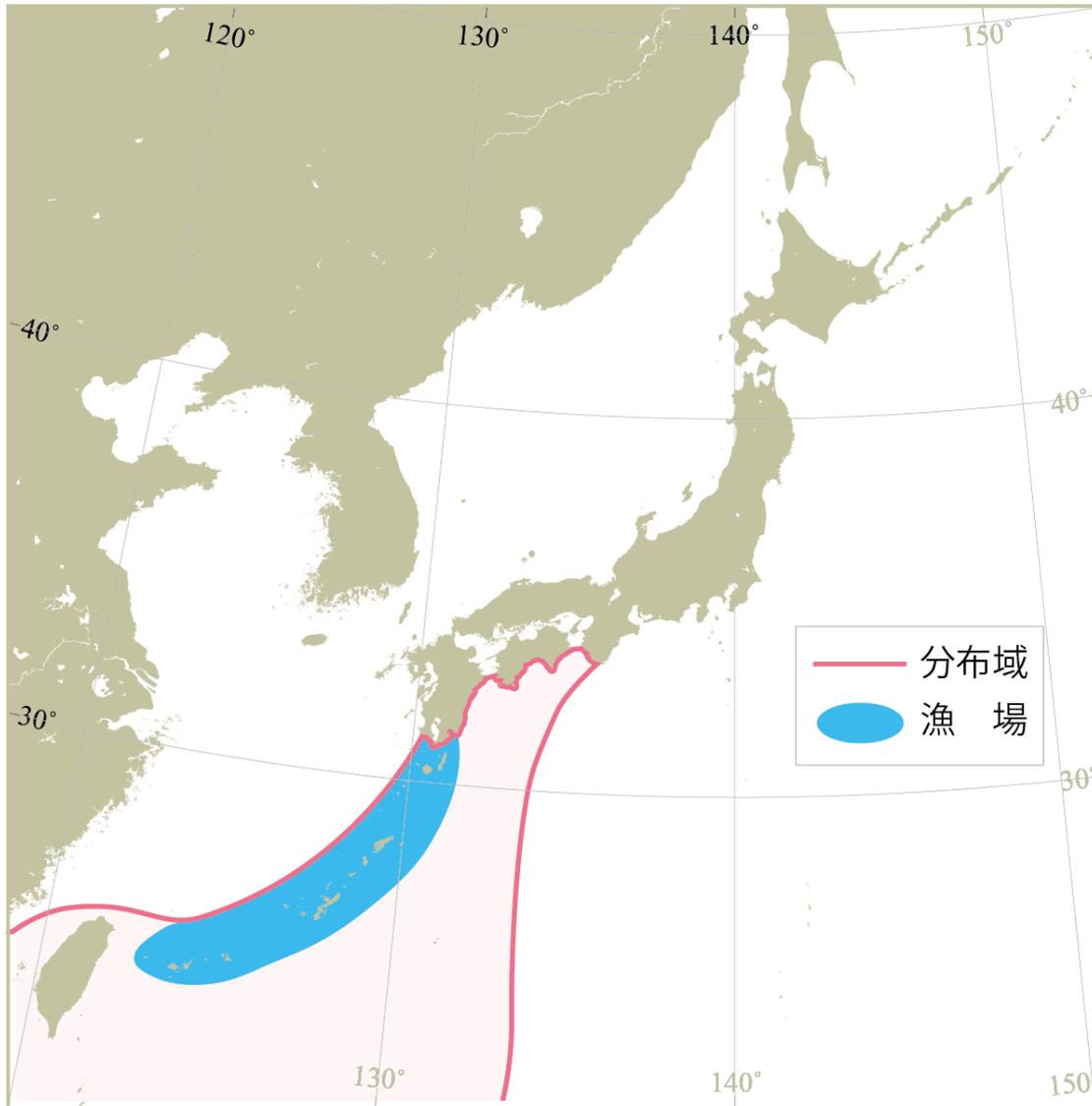


オオヒメ

マチ類

奄美諸島・沖縄諸島・先島諸島
令和5年度資源評価結果

生物学的特性

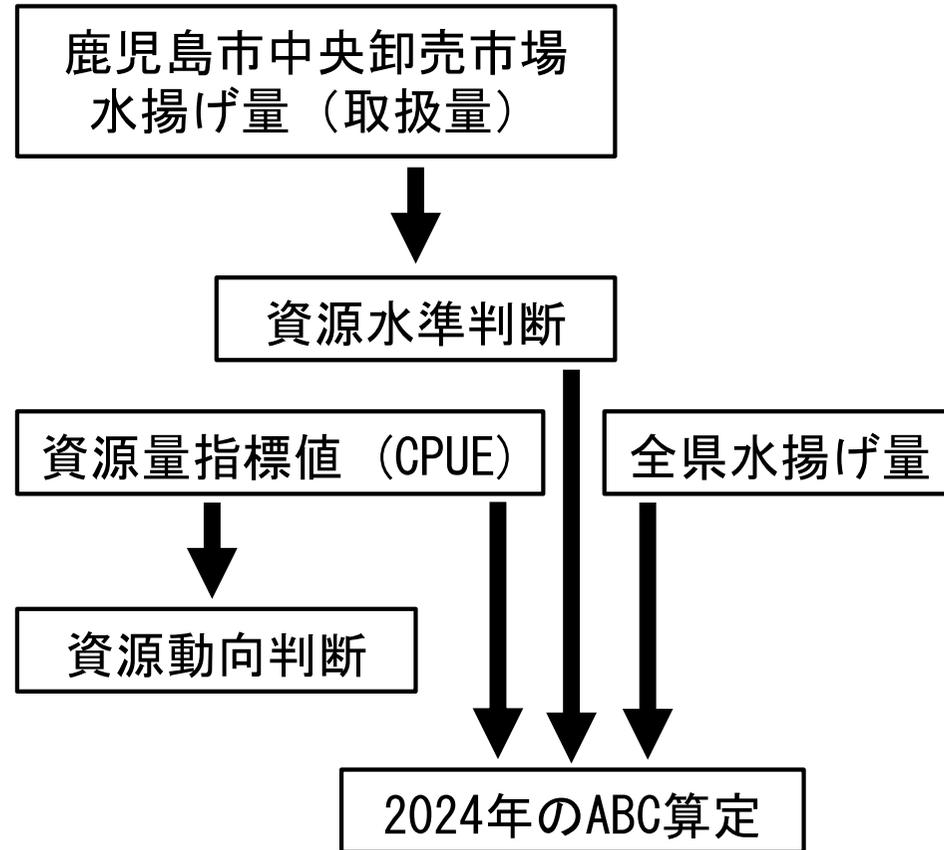


- 漁獲はほぼ周年

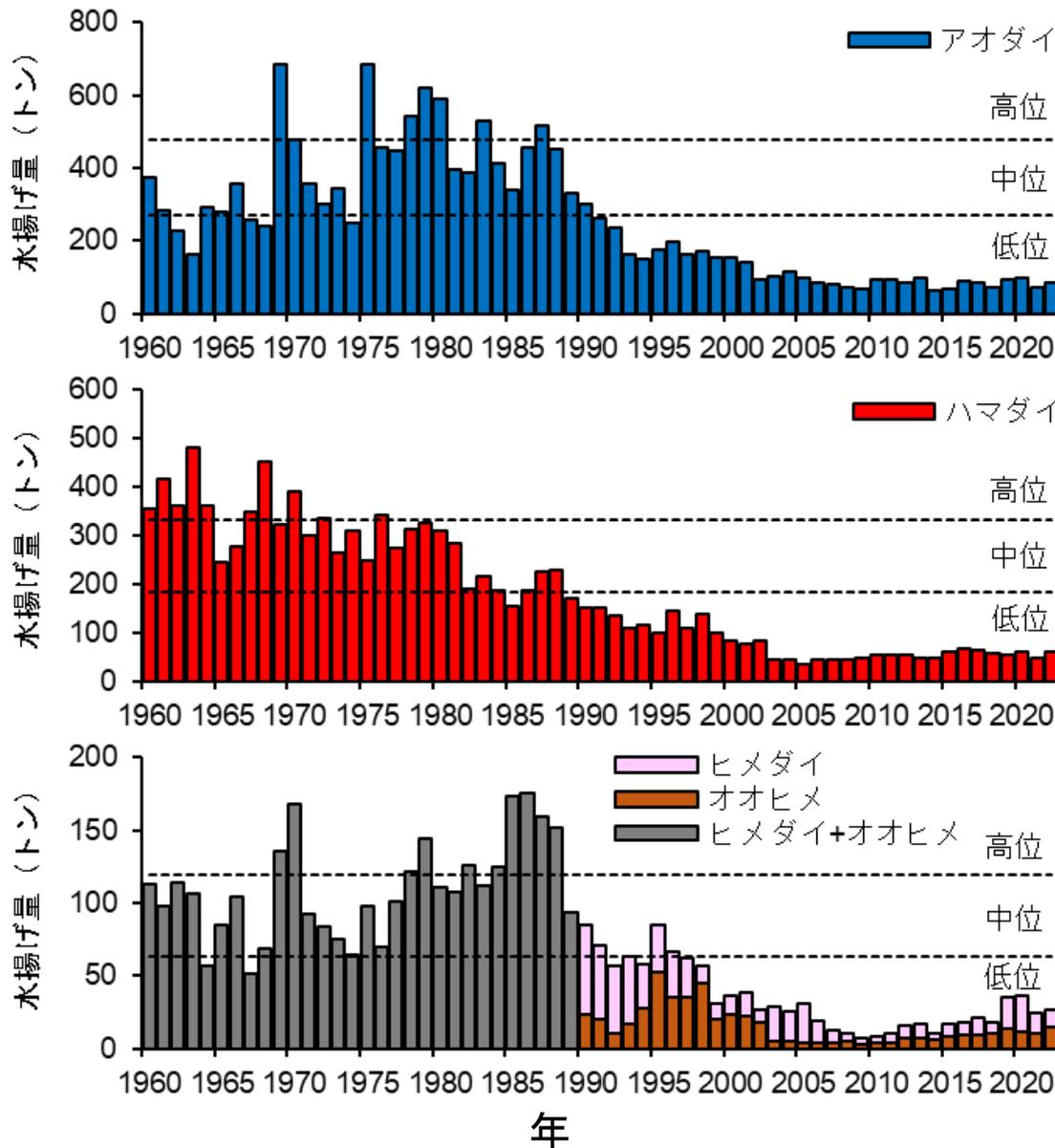
生物学的特性

- 寿命：アオダイは59歳、ハマダイは55歳、ヒメダイは38歳、オオヒメは35歳
- 成熟開始年齢：アオダイは2歳（一部）、7歳（50%）、ハマダイは9歳（一部）、12歳（50%）、ヒメダイは2歳（50%）、オオヒメは2歳（一部）、3歳（50%）
- 産卵期・産卵場：アオダイは4～9月、ハマダイは5～11月、ヒメダイ・オオヒメは3～10月
- 食性：アオダイは大型動物プランクトン、ハマダイは小型イカ類、魚類、ヒメダイとオオヒメは魚類、ヒカリボヤ類、浮遊性甲殻類、イカ類など
- 捕食者：マハタ、カンパチ、サメ類など

資源評価の流れ



資源の動向①



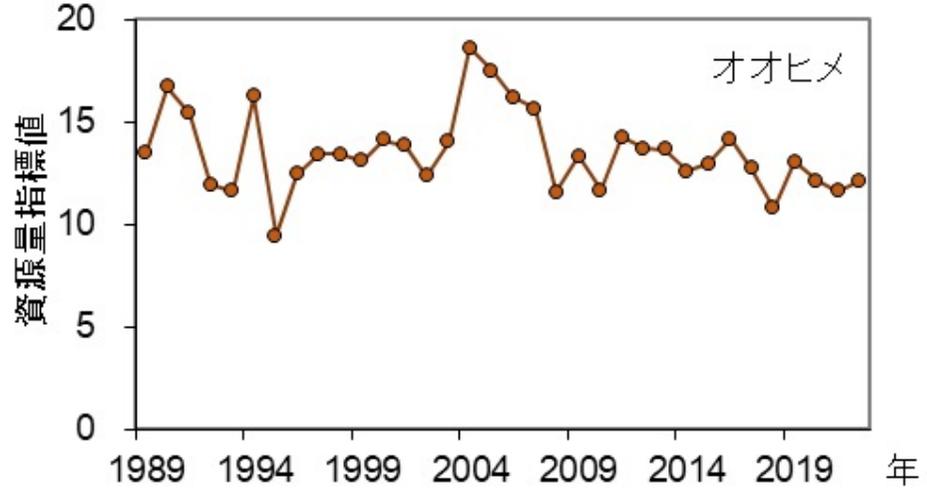
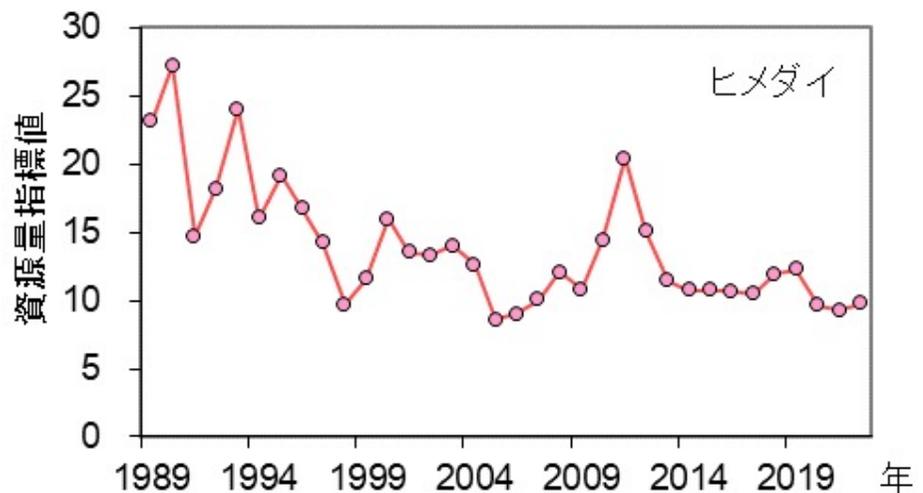
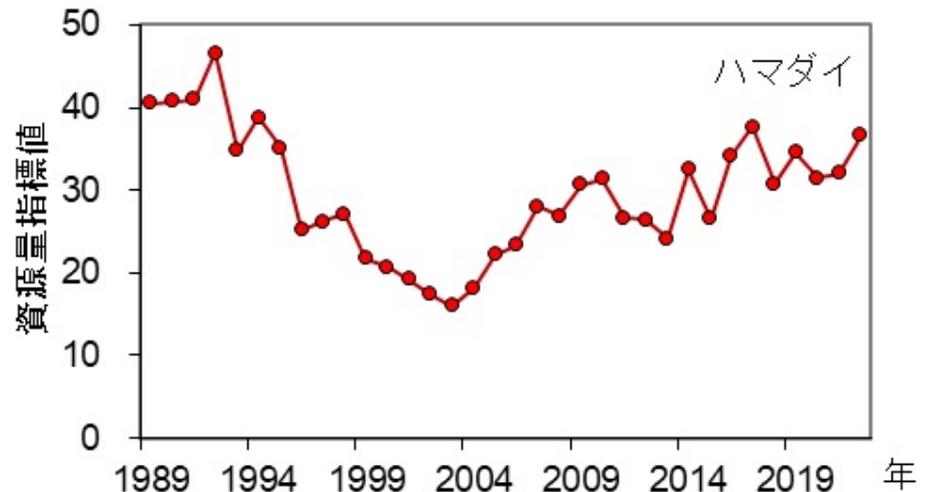
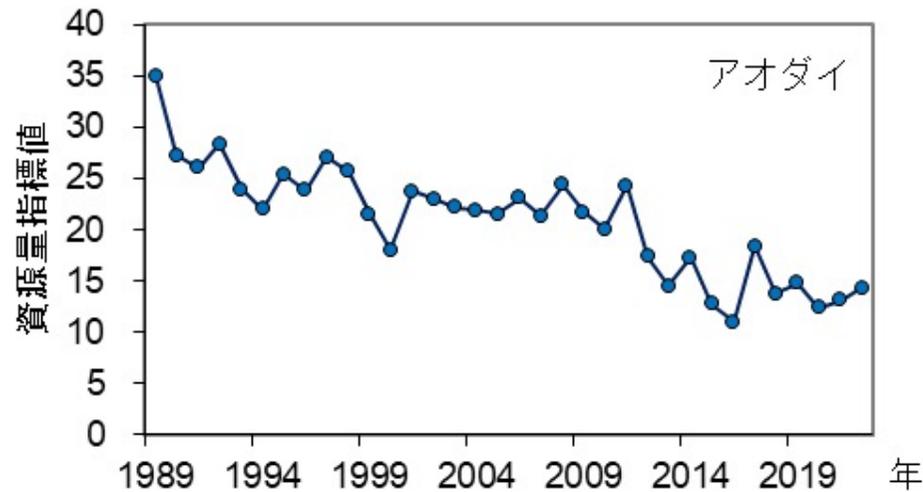
※水準区分

アオダイ、ハマダイおよび
ヒメダイ・オオヒメの混合種群

(それぞれの水揚げ量の最高値と
最低値の間を3等分した値を高位・
中位・低位の区切とした)

- 資源水準：63年間の水揚げ統計がある鹿児島市中央卸売市場の水揚げ量から、2種・1種群とも「低位」

資源の動向②



- 資源動向：直近5年間（2018～2022年）の資源量指標値（八重山漁協一本釣り漁船1隻1航海あたりの漁獲量（CPUE））の推移から、アオダイ、ヒメダイ、オオヒメは「横ばい」、ハマダイは「増加」

資源評価のまとめ

- 水準は、いずれの種・種群も低位
- 動向は、アオダイ、ヒメダイ、オオヒメで横ばい、ハマダイで増加
- 漁獲量と資源量指標値の推移をもとに、2024年ABCを算出した

2024年ABC

	管理基準	Target/ Limit	2024年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値(現状のF値 からの増減%)
アオダイ	0.7・Cave 3-yr・1.07	Target	145	—	—
		Limit	181	—	—
ハマダイ	0.7・Cave 3-yr・1.08	Target	142	—	—
		Limit	178	—	—
ヒメダイ	0.7・Cave 3-yr・1.01	Target	49	—	—
		Limit	61	—	—
オオヒメ	0.7・Cave 3-yr・1.00	Target	36	—	—
		Limit	45	—	—

- ABC算定規則の2-1)により、 $ABC\ limit = \delta_1 \cdot Cave\ 3\text{-yr} \cdot \gamma_1$ で計算
- δ_1 : 0.7 (Caveを用い、資源水準が低位である場合の推奨値)
- Cave 3-yr : 直近3年間(2020~2022年)の平均漁獲量
- γ_1 : 1.07、1.08、1.01、1.00 (直近3年間(2020~2022年)の資源量指標値の傾きと平均値から算出)